



美濃路みちおこしプロジェクト



景観を 楽しむ

美濃路 × 木曽川の

ふりそとの景色に想いをのせて
今、その一瞬を切りとろう。

開催期間

2022.

3/5^土

↓
27日



撮影：羽木貴規 協力：大野雄規、柴垣貴文、上谷 空

あなたが残したい「いちのみやの景色」を発信しよう！

みのじみちおこし



先着
200名様

ハッシュタグをつけて
写真をSNSにアップして
オリジナルステッカーをもらおう！



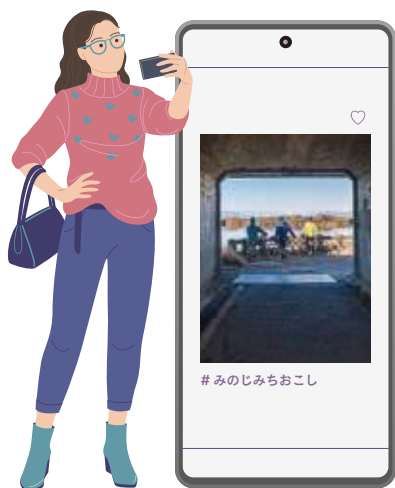
美濃路×木曽川
ミュージアム

オリジナル
ステッカー

参加方法

- 1 木曽川や美濃路など、あなたが残したい一宮市の景観を撮影
- 2 「#みのじみちおこし」をつけてご自身のSNSにアップ
(※人物が写っている場合は、必ずご本人の同意を得てください。)
- 3 アップしたSNSを、一宮市尾西歴史民俗資料館受付で提示して
いただいた方にオリジナルステッカーをプレゼント！(先着200名様)
※ステッカーのプレゼントはお一人につき1枚となります。

プレゼント



美濃路×木曽川 ミュージアム
一宮市尾西歴史民俗資料館

「今」だからこそ出会える、いちのみやの景色



一宮市には、縄文時代から人々が暮らし始め現在に至る長い時間、そのときどきに、その時代が生んだ景色がありました。

天正14年（1586）の大洪水の後、大きく河道が変わり、現在につながる木曽川という大河ができました。今では、市の北と西を添うように流れ、緑の景観をつくっています。もともと河川敷は砂州が一面に広がる目に眩しい景色でした。

時代時代が変わっていく景色には、歴史や文化や産業、人の暮らしが大きくかわっています。景観は、時代を映す鏡とも言えます。「今」を生活している私たち。ふるさと一宮の「今」の素晴らしい景色を、多くの人に発信してみませんか。

みのじみちおこし



※1～5 羽木貴規 撮影、6・7「一宮市景観計画」より

ご存知ですか？

一宮市景観計画

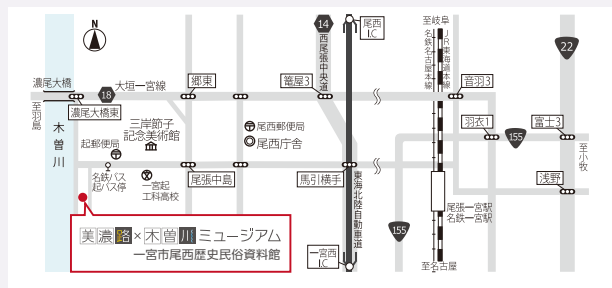
木曽川に育まれた歴史や文化が織りなす親しみのあるまちを目指します

木曽川が育んだ豊かな自然、繊維産業の歴史的な景観などの未来へ引き継ぐべき景観の保全や、新たに生み出される景観の形成を、みなさまと一緒に取り組んでいくため、令和3年4月に景観法に基づく景観計画を策定しました。

一宮市景観計画のページはこちら▶



まちづくり部公園緑地課 TEL 0586-28-8636



プレゼントの引換えは受付までお越しください



一宮市起字下町211番地

TEL 0586-62-9711

休館日:毎週月曜日(21日は開館)、22日(火)

アクセス:

JR東海道本線「尾張一宮」または名鉄名古屋本線「名鉄一宮」下車、一宮駅西口バスターミナル2番のりばから名鉄バス「起(おこし)」行きで約20分「起」下車、徒歩5分

◀ 公式Instagramはこちら

美濃路 × 木曽川 ミュージアム
一宮市尾西歴史民俗資料館